

特別活動の充実で学校はどのように変わるの？

いじめの未然防止につながります

特別活動におけるいじめ予防の役割は、教師や大人が上からの力でいじめを抑え込むのではなく、児童の力を信じて、児童自身でいじめの発端となるトラブルなどの解決ができるたくましい集団を育てていくことにあります。

特別活動では、よりよい人間関係を築く力と問題解決力の育成を目指します。よりよい人間関係のある集団では、親和的な雰囲気が生まれ、特定の子を継続的に苦しめるような行為は発生しません。また、問題解決力が育っている

児童であれば、友達同士のトラブルに対して、当事者、あるいは周囲の友達も巻き込んで、よりよい解決策を見いだそうとします。いじめにつながるようなトラブルなどに対しても、教師の適切な指導の下に、自分たちで進んで解決しようとする動きが始まります。そのことが、結果としていじめの未然防止につながるのです。

学力向上につながります

特別活動では、よりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てます。学校生活上の諸問題を話し合っ解決していく中で、児童は自ら生活習慣を向上させようとしたり、ルールを順守しようとしたりするようになります。それは、自ら学習に取り組む意欲を高め、より学習した内容が身に付いていくことにつながります。また、よりよい人間関係の深まりによって、間違いや失敗を恐れず安心して学習に取り組めるようにもなります。そうした

安心感は、のびのびと自己を表現することにつながり、友達と教え合ったり切磋琢磨したりして、互いに学び合い高め合っていくような学級の雰囲気を醸成していきます。

(OECDによる「生徒の学習到達度調査(PISA2003)」では、数学的リテラシー得点について、学校質問紙・生徒質問紙の結果及び調査問題との関連から、例外なく「学級雰囲気が良好である程、得点が高くなる」「生徒のモラルが高い程、得点が高くなる」と報告しています。)

自己有用感を育むことにつながります

特別活動では、よりよい生活や人間関係を築くために、児童が自分たちで役割を分担し合ったり、任された仕事の責任を果たしたりするなど、集団の一員として、集団に寄与する活動を展開していきます。児童は、その活動過程で、達成感や充実感を味わい、仲間と互いのよさを認め合ったり自分の成長に気付いたりするなど、「自分自身の

持ち味やよいところ」や「仲間から必要とされていること」「自分も役に立っていること」を実感することができます。

こうしたことを通して、集団の中で自分がどれだけ大切な存在であるかということを実感するなど、自己有用感が育まれていきます。

【作成協力委員】 ※職名は平成26年4月現在

安部 恭子	さいたま市立南浦和小学校教頭	橋谷 由紀	川崎市教育委員会総務部担当課長
太田 敦弘	鳥取県教育委員会西部教育局指導主事	前田 学	京都市立松陽小学校長
木村 孝之	埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課指導主事	宮川 八岐	國學院大學人間開発学部教授
中村 尚志	佐賀県教育庁東部教育事務所指導主事	脇田 哲郎	福岡県教育センター教育背経営部部長

(敬称略 五十音順)

国立教育政策研究所においては 杉田 洋 教育課程調査官(文部科学省初等中等教育局視学官)が作成・編集に当たった。

楽しく豊かな
学級・学校生活をつくる

小学校編

特別活動

もっと…

自主的に行動できる児童を育てたい！

仲良く協力できる学級をつくりたい！

全校児童を生き生きさせたい！

学校を元気にしたい！

でも、指導の仕方がよく分からない…

そんな先生におくります！

平成25年7月

文部科学省

国立教育政策研究所
教育課程研究センター

児童の
笑顔

保護者の
信頼

教師の
やりがい

特別活動って どんな教育活動なの？

特別活動は、児童の自治的な能力や自主的な態度を育て、学力向上の基盤に必要な望ましい人間関係を築き、いじめや不登校などの問題に対する予防薬的な役割を果たすなど、児童の成長に欠かせない教育活動です。

特別活動の目標 小学校学習指導要領第6章 特別活動

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

望ましい集団活動とは
以下のような活動です。

- ◆活動の目標をみんなでつくります。
- ◆目標達成の方法を話し合って決めます。
- ◆役割分担をし、協力して取り組みます。

学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事は、望ましい集団活動を展開することが前提です。

小学校学習指導要領解説 特別活動編 P8

目標

特質 意義

内容

特質は？

集団活動であること

よりよい生活や人間関係を築くために、目標やその達成の方法や手段などを決め、みんなで役割を分担してその実現を目指す協働的な集団活動です。

自主的な活動であること

自ら楽しく豊かな学級や学校の生活をつくりたいという課題意識をもって、指示待ちではなく、自分たちで問題を見つけたり話し合ったりして解決するなど、「児童による、児童のための活動」です。

実践的な活動であること

楽しく豊かな学級や学校の生活づくりのための諸問題を話し合ったり、話し合いで決めたことに友達と協力して取り組み、反省を次に生かしたりするなど具体的に実践する活動です。

教育的意義は？

- 自分たちで生活の諸問題を解決しようとするたくましい児童が育ちます。
- 児童相互、児童と教師との人間的な触れ合いが深まります。
- 友達と協力して、チームで活動しようとする児童が育ち、いじめ問題等の未然防止に役立ちます。
- 切磋琢磨できるよりよい人間関係が育ち、効果的に学力を向上するための土壌づくりになります。
- 共生社会の担い手としての豊かな人間性や社会性を身に付けることができます。

特別活動に期待されることって何？ …… 4

学級活動(1) 学級や学校の生活づくり

学級会をどう指導するの？

学級会の事前の指導は？ …… 5

学級会の時間の指導は？ …… 6,7

学級会の事後の指導は？ …… 8

係活動をどう指導するの？ …… 9

学級活動(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全

目標をもって生活できるようにするには？ …… 10,11

生活上の課題をどう授業にするの？ …… 12,13

児童会活動をどのように児童の活動にするの？ …… 14

クラブ活動をどのように児童の活動にするの？ …… 15

学校行事で学校生活をどのように豊かにするの？ …… 16,17

教室経営の工夫で

特別活動をどのように充実させるの？ …… 18,19

特別活動の充実で学校はどのように変わるの？ …… 20

特別活動に期待されることって何？

学級経営の充実に貢献します

小学校学習指導要領では、第1章 総則の「学級経営の充実に図り…」について、あえて第6章 特別活動でも重ねて記述し、強調しています。

このことは、学級経営の充実にために、児童によりよい生活づくりや人間関係づくり、日常の生活や学習への適応などを内容とする特別活動が重要な役割を果たすことを示したものです。

特別活動の充実によって、児童の自治的な能力を高めるようにしたり、生活や学習に適応できるようにしたりします。また互いのよさを生かして自分たちの学級生活をよりよくしようとする意識が高まり、「児童一人一人が生き生きと生活や学習に取り組むようになるなど、よりよい学級経営の実現につながります。」

➡ 小学校学習指導要領解説 特別活動編 P59参照

道徳教育に役立ちます

目標の「自己の生き方についての考えを深め」や学級活動の内容の「協力し合って楽しい学級生活をつくる」など、特別活動と道徳の目標や内容は共通している点が多くあります。

これは、同学年や異学年の友達、地域や施設などの多様な人々、自然などとふれあう特別活動における望ましい集団活動や体験的な活動が、道徳性を養うための重要な場になっているからです。

道徳の時間は、資料などを通して例えば「協力とは何か」を考えますが、特別活動では、「協力するためには、どうしたらよいか」について話し合い、決めたことを実行します。その上で活動を振り返り、「協力とは何か」について考えることができるようにするのです。

➡ 小学校学習指導要領解説 特別活動編 P24参照

生徒指導の中核的な時間です

小学校学習指導要領では、第1章 総則の「生徒指導の充実に図る」ことについて、あえて第6章 特別活動でも重ねて記述し、強調しています。

また、生徒指導提要（平成22年3月 文部科学省）には「学級活動などの特別活動は、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築き、人間としての生き方について自覚を深め、自己を生かす能力を養う場であり、**生徒指導のための中核的な時間となる**と考えられます。」とあります。

このように特別活動は、自己指導能力や自己実現のための態度や能力の育成をねらいとする生徒指導を推進する上で最も関わりの深い教育活動なのです。**特に学級活動(2)**は、かつて学級指導（学級で行う生徒指導の授業）と言われたように、重要な学習です。

➡ 小学校学習指導要領解説 特別活動編 P29参照

各種の「〇〇教育」に期待されています

今、学校には、キャリア教育、保健や食育などの健康教育、人権教育、福祉教育、環境教育、法教育、防災や防犯などの安全教育、情報教育など、様々な教育の充実が求められています。

これら各種の「〇〇教育」は、学級活動の共通事項で示した内容として、**授業で取り上げることができません**。また、児童会活動や学校行事として、関わりの深い活動を**多様に展開することもできる**など、特別活動の果たす役割が期待されています。

これらを取り扱う際は、**特別活動の目標や特質に即して活動できるようにします**。また、適切な授業時数を充てるなどして**年間指導計画に位置付け、指導します**。

学級活動(1) 学級や学校の生活づくり

学級会をどう指導するの？

学級会の事前の指導は？

学級の諸問題について話し合って解決する活動を通し、望ましい人間関係や社会参画の態度を育てます。また**違いや多様性を超えて、「合意形成をする言語能力」の育成を図ります**。

議題「どうぞよろしくの会をしよう」(3学年)を例に

1 問題の発見

- C 「クラス替えをしたから、みんなのことを知って早く仲よくなれるような集会がしたいな。」
- T 「なるほど。議題ポストに提案してごらん。」

- 提案された議題の中から、取り上げる議題を選びます。
- 選ばれなかった議題の取扱いについて提案者に伝えます。

【児童に任せることができない内容】

- 個人情報やプライバシーに関わること (例) 個人情報の公開、など
- 相手を傷付けるような結果が予想されること (例) 個人を責める内容、人権に関わる内容、など
- 教育課程に関わること (例) 時間割の変更、学級単独での遠足、など
- 校内の決まりや施設・設備の利用に関わること (例) 体育館等の使用、菓子の飲食、など
- 金銭徴収に関わること (例) プレゼント代の集金、など
- 健康・安全に関わること (例) 危険を伴うゲーム、など



- 議題の提案へつながる児童のつぶやきなどを見付け、助言することで、問題を発見する視点を伝えます。

【議題の集め方】

- 議題ポストへの提案から。
- 朝の会や帰りの会で、話題になったものから。
- 学級日誌などに書かれていることから。
- 係活動や当番活動の感想から。
- 代表委員会や各委員会などの児童会から依頼されたこと、又は学級から児童会に提案したいこと。

※初めは教師が助言したり、ときには例示したりすることも必要です！

2 議題の選定 (計画委員会)

- T 「学級の全員に関係があって、今やるべき議題はどれでしょう。」
- C 「そう考えると、今回は『どうぞよろしくの会をしよう』がいいね。」

※計画委員は輪番制で行い、全員が経験できるようにします。

3 活動計画の作成 (計画委員会)

➡ 小学校学習指導要領解説 特別活動編 P36参照

- T 「1時間かけて全員で話し合う必要があるのは、どのようなことでしょう。」
- C 「学級会では、どんな遊びをするか、どんな係が必要か、などについて話し合おう。」

【計画委員会の準備】

- 学級会ノート配布し、各自が自分の考えを記入します。教師は助言や励ましの言葉を書いて返し、自信をもって発言できるようにします。
- 事前に議題や提案理由、話し合うことなどについて学級会コーナーに掲示し、共通理解を図ります。
- 必要に応じてアンケート結果をまとめた資料などを用意し、議題への切実感を高めます。
- 計画委員会の児童は、教師の指導の下、司会や記録の仕方の確認などの準備をします。



- 活動計画は計画委員の児童と教師で作成します。学級会を進行する上で活用できるように具体的な内容にします。

【計画委員会で話し合うこと】

- 提案者の思いを生かして提案理由を明確化する
- 「学級会で話し合うこと」(話し合いの柱)を決定する
- 役割を分担する
- 進め方、気を付けることを確認する

【提案理由に入れる内容(例)】

- ① 現状の問題点 (今、こうなってしまう)
- ② 考えられる解決の方法 (こうすることで)
- ③ 解決後のイメージ (こうしたい、こうなりたい)



4 問題の意識化

- C 「今度の学級会で、どんな“どうぞよろしくの会”にしたいか話し合おう。」(計画委員)
- T 「学級会ノートに自分の考えを書いておきましょう。」

学級会をどう指導するの？ 学級会の時間の指導は？

計画委員会への事前の指導は積極的に行いますが、学級会では児童の話合いを見守ることが基本になります。
適切なタイミングで指導・助言を行いながら、児童が自分たちでよりよい集団決定ができるようにします。

「教師の指導・助言」のタイミング

- 人権を侵害するような発言があったときや話合いが混乱したとき、提案理由や話合いのめあてからそれたときなどは、その場で指導・助言を行います。
- 司会の児童だけでなく、全員に対して助言し、学級全体の話し合いの力が高まるようにします。
- 低学年などにおいて、初めに教師が話す時間をとっている場合には、提案者の思い等を確認することが考えられます。

めやすの時間は？

- めやすの時間を示し、時間を意識して話し合うことができますようにします。
- 重点を置く内容により多くの時間をかけられるようにします。

「話し合いのめあて」の設定は？

- 必要に応じて、計画あてを設定しておく
- 合意形成のための話し合い方などのめあてを設定します。

提案理由とは？

- 「何のために話し合うか」を明確にし、事前に共通理解を図ります。
※P7【提案理由に入れる内容(例)】を参照

学級会の「議題」は？

- 本時だけでなく、事前から事後までの一連の流れを議題と捉えます。

学級活動ノートを活用

- 学級会の前に書き、自分の考えをもって話し合いに臨むことができますようにします。
- 事前に教師が目を通し、提案理由からそれた意見は、個別に指導しておきます。
- 4月から継続的に使用し、学級会だけでなく、活動後の振り返りも記入できるようにします。また、活動内容(2)のワークシートなどを貼ることも考えられます。

短冊を活用

- 事前に議題等を、厚紙や短冊黒板等を活用して学級活動コーナーに掲示しておきます。それをそのまま学級会で黒板に貼り、使うこともできます。

終末の「先生の話」のポイント

- 前回の学級会と比べてよかったこと
 - 次回の学級会に向けての課題
 - 司会グループへのねぎらい
- 上記の3点についてコメントするとともに、実践への意欲を高める声掛けを行います。



「決まっていること」の提示は？

- 集会の場所や時間、決める遊びの数などの「条件」を明確にします。
- ホワイトボードなどに書いて掲示しておき、話し合いのときにそのまま使う方法もあります。

「話し合うこと」の設定は？

- 45分間かけて話し合う価値のある内容に絞ります。
- 基本的には、「何をするか」「どのようにするか」「係分担はどうするか」の三つの大きな課題を話し合います。(議題によっては二つに絞って話し合うことも考えられます。)
- 発達の段階を踏まえ、「どのようにするか」に重点を置きます。
- 「何をするか」については、学級活動コーナーに掲示するなど、事前に考えを出し合っておき、本時は賛成・反対の「くらべ合う」から行う方法もあります。
- 提案理由や話し合いのめあてに沿って、自分の考えを自分の言葉で発表できるようにします。

思考の可視化・操作化・構造化

- 意見を短冊に書き操作しながら、分類・整理して比べやすくします。
- 賛成・反対マークを、色を変えて貼るなど、話し合いの過程が分かるようにします。
- 「出し合う→くらべ合う→まとめる(決める)」の話し合いの流れが分かるように示し、見通しをもって時間内に決めることができますようにします。

② 年間指導計画

予想される議題例	指導上の留意点	活動形態別の評価規準
<ul style="list-style-type: none"> ○ なかよくしよう集会をしよう ○ 係を決めよう ○ 学級の歌をつくらせよう ○ みんなで遊ぶ日の約束を決めよう ○ スポーツ集会をしよう ○ 雨の日の過ごし方を考えよう ○ 仲よし学級の2年生と仲よくしよう ○ 楽しいバスのレクリエーションを考えよう ○ 学級ボールの使い方のやくそくを決めよう ○ 交流遊びの計画を立てよう 	<p>＜話し合い活動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 計画委員会を中心に適切な議題を自分たちで選択する。 ○ 計画委員会で話し合う事柄や順序などについて話し合うことができるようにする。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学級生活の充実と向上に関心をもち、計画委員会の活動や話し合いの準備などに、意欲的に取り組もうとしている。 <p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 議題について自分の考えをもち、計画委員会の運営や話し合いの活動計画について考え、準備する。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に考えてきたことについて、理由を明確にする。 	

年間指導計画の活用

(※平成23年11月国立教育政策研究所「評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校 特別活動】」より)

- 活動内容(1)に示している「なかよくしよう集会をしよう」は、あくまでも予想される議題例です。本事例は学級の実態や児童の思いから、「どうぞよろしくの会」という議題にして話し合ったものです。



まだよく知らない友達がいるから、ただゲームをするんじゃなくて、自己紹介してからやったらほうがいいと思う。

提案理由のことをもう一度確かめましょう。

学級会をどう指導するの？

学級会の事後の指導は？

1 実践の準備

- C 「決まった役割の分担を決めよう。」
- T 「係ごとに、予定を立てて協力して準備をしましょう。」
- C 「みんなが楽しくなるように工夫しようね。」

●実践でも、話し合いのときの提案理由に立ち返り、めあてをもって活動できるように助言します。

【どうそよしくの会(例)】

- ① 始めの言葉
- ② 歌
- ③ 名し交かん
- ④ ゲーム
 - ・ わたしはだれでしょうゲーム
 - ・ なんでもバスケット
- ⑤ 感想発表
- ⑥ 先生のお話
- ⑦ 終わりの言葉



個人や集団の頑張りを称賛し、児童が自信をもてるようにします。



- 互いの活動の進み具合や、お願いしたいことなどを連絡し合うことで、活動意欲を高めます。
- 準備は大切な集団活動です。進んで活動している係を称賛するとともに、活動が滞っている係や児童には、仕事の内容を明確にするなど、個別に助言します。
- 学級会の時間に余裕がある場合は、学級会の中で役割分担まで決めることもできます。

2 学級会で決まったことの実践

- C 「提案理由を意識して、みんなで楽しくやろう。」
- C 「時間にも気を配って進めよう。」
- C 「〇〇さんは、ふだんはおとなしいけれど、声が大きくて司会が上手だな。」

- よさを見付ける視点について指導し、自分の言動を振り返る自己評価や、互いによさを認め合う相互評価を取り入れ、成果と課題について整理します。
- 個人の評価は積み重ねて、自己の変容を振り返る資料とします。
- 全体についての成果と課題は学級活動コーナーに掲示し、次の活動へ生かせるようにします。
- 学級便り等を通じて、家庭にも活動の様子や成果を伝えることで、理解が得られるようにします。
- 事前・本時・事後の一連の活動を終えるたびに振り返り、次に生かすことで成長することができます。



評価について

特別活動の評価の観点は、育てたい資質や能力などに即し、各学校で設定します。

- 文部科学省からは
- 集団や生活への関心・意欲・態度
 - 集団の一員としての思考・判断・実践
 - 集団や生活についての知識・理解
- の三つの観点が例示されています。

このうち「集団の一員としての思考・判断・実践」の「実践」とは、思考・判断したことを表現するにとどまらず、実践することまでを評価の対象としていることを示しています。

このように、特別活動の評価は「なすことによって学ぶ」という、特別活動の基本的性格を踏まえた視点を大切にして、指導に生かせるようにします。

振り返りを生かして
次の活動へ！

新たな議題の提案
よりよい生活づくりを目指して

係活動をどう指導するの？

係活動は、児童の力で学級生活を豊かにするために、自分たちで話し合って係の組織をつくり、全員でいくつかの係に分かれて自主的に行う活動です。



学級生活を豊かにするために、自分が役割を果たせる活動の場が見付かり、**自己有用感**が高まります。

学級のために働くことに喜びを感じる活動を通して、**勤労奉仕の大切さや意義**を理解できます。

係の活動が友達づくりのきっかけになり、**協力や信頼に基づく友情**を大切にする意識が高まります。

当番活動とは違う活動

当番活動は、学級の生活が、円滑に運営されていくために学級の仕事をみんなで分担し、担当しなければならない活動で、学級生活の充実に資するものとも言えます。

それとは違って、**係活動は、児童がその仕事を見いだして創意工夫し、学級の生活をより主体的、自主的で豊かなものにしていく活動**で、学級生活の向上に資するものです。

年度始めの時期に、係活動と当番活動の違いをはっきりと意識させる指導が必要です。低学年では、当番的な活動の中から、工夫が広がるような言葉掛けが大切です。

活動で大事なのは創意工夫

係の種類や活動内容については、**係ごとに考えたり、学級会等で話し合ったりして創意工夫して取り組めるように**します。

協力して学級生活を楽しくする活動

係活動コーナーに掲示するポスターは、係ごとに形や色を工夫し、係の内容やアピールを書きます。話し合いや活動等を生かして、書き加えたり修正したりすることも大切です。

自主的な活動ができるように係活動ロッカーを設置します。(※P20「係活動コーナー」参照)

自分の係だけではなく、学級の係全体が盛り上がるように**アイデアを出し合える係ポストを設置したり、朝の会や帰りの会で取組を報告し合ったりすることも効果的です。**

また、**係活動発表会を行うことによって、係ごとのよさを認め合ったり、改善策や係相互の協力関係が生まれたりして活性化が図られます。**



パースター係

メンバー
●● ▲▲ ◇◇
○○ ▼▼



- ♥ 毎月1日にその月のたん生日をあいわいします。
- ♥ パースター係から手作りのプレゼントをわたします。かざり係にとくべつなかざりつけをしてもらったり、あそび係に学級のみんなで遊ぶ計画を立ててもらったりして、一人一人のたん生日を盛り上げます。

発達段階による指導上の留意点は？

低学年では、自分たちでできる仕事を見付け、仲よく助け合って活動します。当番的な活動を含む場合もあります。

中学年では、楽しい学級生活をつくるために工夫し、協力し合って意欲的に活動します。当番活動とは明確に分化して行うようにします。

高学年では、自分のよさを積極的に生かし、豊かな学級生活をつくるために工夫し、信頼し支え合って活動します。

(※平成23年11月国立教育政策研究所「評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校 特別活動】」参照)



目標をもって生活できるようにするには?

例えば「学級・学校の生活や学習に希望や目標をもって取り組む態度を形成する」ためには

ア 希望や目標をもって生きる態度の形成

題材「5年生になって」(5学年)の例

願わないことは叶わない

「やらされていることには本気で取り組まない」「願わないことは叶わない」「内省のないところに成長はない」このことを踏まえ、自分たちで目標をしっかりと定め、反省と改善を繰り返しながら追求できるようにすることで集団も個人もよりよく成長させたいものです。新生活等への期待や不安が折り重なる年度当初は特に大事です。

児童が、よりよい「理想の学級・学校生活や学習」について話し合い、これを基に各自が自分の目標を決めて、集団として協力し、個人として努力しながら前向きに取り組めるようにすることは、児童の大きな成長につながります。

問題意識をもつ

事前指導

「目指す5年生像」(学級教育目標)を設定する

- 児童・保護者にアンケート等を実施し、本時で提示する資料を作成します。

児童には、5年生になって楽しみなことや、心配なことについて尋ねます。また、保護者にも「こんな子に育て欲しい」という願いや、担任へ望むことなどについて尋ねます。

- 児童や保護者等のアンケート結果や児童との話し合いを基に、「目指す5年生像」(学級教育目標)を設定します。この際、「理想の学級・学校生活」に関するアンケートもまとめておきます。

- 「目指す5年生像」(学級教育目標)を教室の前面などに掲示します。

ほくもついに高学年の仲間入りだ。楽しみだけど、ちょっと不安だな。



つかむ

5年生の期待や不安について話し合う

- アンケートの結果(楽しみなこと・心配なこと)を基に、「期待や不安」について話し合います。

学級会の役割や意義などを再確認し、前年度までの学級会の様子や、これからやってみたいことなどについて話し合い、学級会への実践意欲を高めます。

私だけじゃなくて、友達も楽しみなことや心配なことがあったんだ。少し安心したな。

さぐる

「理想の学級生活」について話し合う

- 資料を基に「理想の学級・学校生活」や「高学年として」について話し合います。
- 事前に設定した「目指す5年生像」(学級教育目標)も具体的に説明し、期待感を高めるようにします。
- 学級会や児童会活動も取り入れます。

初めての委員会。新しい学級生活の願いを考えると、楽しい学級・学校生活をつくりたいな。

見付ける

よりよい学級生活や学習のための自分の目標を決める

- 目指す5年生像や理想の学校生活などの話し合いを参考に、児童が自ら努力する目標を自己決定できるようにします。
- 目標は、カード等に記入し、掲示できるようにします。(カード例)例えば、「生活」「学習」「運動」の欄を設けます。「」(空欄)を作り、そのほかの目標を加えられるようにすることも考えられます。
- 目標に向かって、互いに励まし合って取り組んでいけるよう助言します。

習も始まる。家の人など協力しながら頑張りたいな。

決める

よりよい学級生活や学習のための自分の目標を決める

- 目指す5年生像や理想の学校生活などの話し合いを参考に、児童が自ら努力する目標を自己決定できるようにします。
- 目標は、カード等に記入し、掲示できるようにします。(カード例)例えば、「生活」「学習」「運動」の欄を設けます。「」(空欄)を作り、そのほかの目標を加えられるようにすることも考えられます。
- 目標に向かって、互いに励まし合って取り組んでいけるよう助言します。

いろいろな目標が考えられるんだな。〇〇さんが考えている目標は、ぼくのと似ているな。よし、自分はこの目標で頑張っていこう。

実行する

事後指導

実践と評価を繰り返しながら、目標の実現を目指す

- 各自、目標に取り組めます。
- 各自の個人目標や「目指す5年生像(学級教育目標)」について、定期的に振り返る時間を設け、よりよい方法を話し合うようにし、実践意欲の継続化を図ります。
- アンケート結果や本時で話し合った「理想の学級・学校生活」については、壁面に掲示しておきます。
- 家庭と連携し、日常生活での意識化を図ります。



ここまで頑張ることができたわ。ちょっと自信が付いてきたな。

4/25 5年生になって

楽しみなこと



心配なこと



ほご者の願い



みんなの願い



5年生の学習・生活とは?

- 新しく家庭科、外国語活動が始まる
- 委員会活動が始まる
- 高学年としての役わり(6年生を助けて)
- グループ新聞コンクールなど活発に
- 〇〇大会がある
- リーダーの機会がふえて不安

どんな目標が考えられる?

- 学校図書館を利用して
- 家庭学習を計画的に(自主勉強ノートを!)
- 学級会や児童会に提案を
- 朝運動に取り組んで
- 読書計画を立てて取り組んで

自分の目標を決めよう!

カードに書きましょう

本事例以外の題材でも…

学級活動(2)の本事例以外の、友達への接し方などの人間関係、家庭学習を含めた基本的な生活習慣や当番活動等の役割と働くこと、食習慣や健康・安全への取組、学校図書館の利用などについても自己の目標を決めて取り組めるようにし、健全な生活態度を育てます。

生活上の課題をどう授業にするの？

例えば「望ましい食習慣を形成する」ためには

キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

題材「バランスのよい食事」(3学年)を例に

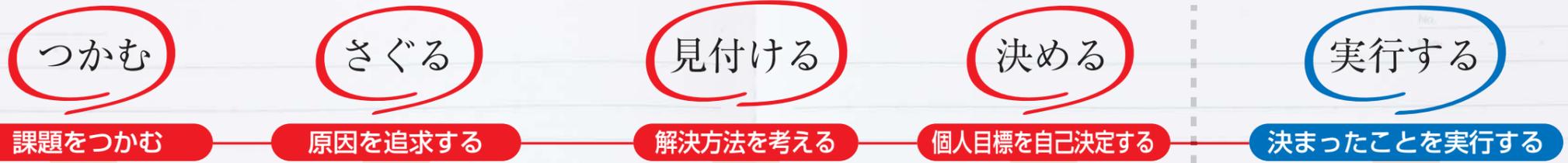
日常生活上の課題は、始業前などに20分程度の時間を設け計画的に指導するとよいでしょう。その際に「こうしなさい」と教えるのではなく「あなたはどうするの」と問い掛ける指導にします。特に重要な課題は45分間の授業として取り上げます。その際は、効果的な資料の活用、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員、地域の講師などとの協力的な指導の工夫が効果的です。

自分の生活を
もっとよくしたい



月	題材	指導のねらい
4月	3年生になってア(ウ)	3年生はどんな学年であるかを知ることにより、その責任に気づき、めあてをも活できるようにする。
5月	上手なそうじエ	正しい掃除の仕方について、みんなで協力してとることができるようにする。
6月	健康な歯カ(キ)	自分の歯並びに合った歯磨き方法を知り、歯を振り返り、これからの歯並びを改善することができる。
1月	バランスのよい食事キ	健康な体を作るためには、3つの色の食品をバランスよくとる必要があることを知り、好き嫌いなく何でも食べようとする意欲をもつことができる。

年間指導計画



- つかむ (課題をつかむ)**
 - アンケートや調査結果を活用し、**自分自身の問題**として捉えられるようにします。
 - 写真やビデオ映像なども資料として活用できます。
- さぐる (原因を追求する)**
 - 原因を整理**して、解決に向けての方向性をはっきりとさせます。
 - 改善の必要性**を実感し、改善すべき点に気づくようにします。
- 見付ける (解決方法を考える)**
 - 資料を活用して必要な情報を提示します。
 - 児童の**情報交換**の場をつくります。
 - みんなで話し合い、**協力して自己決定**へと向かっていけるようにします。
- 決める (個人目標を自己決定する)**
 - 強い決意をもって、個に応じた、**具体的な実践方法**やめあてが決められるようにします。
 - 自分の力で**実現可能で自己評価できる内容にします。
- 実行する (決まったことを実行する)**
 - 自己決定したことを努力してやってみます。



1週間程度やってみて、実践状況を話し合います。



帰りの会などでも実践を振り返ります。



- 定期的振り返りの時間を設け、**実践意欲の継続化**を図ります。
- 学年、学級便り等を通して家庭と連携し、**日常生活での意識化**を図ります。

展開例

「ウ 望ましい人間関係の形成」の例

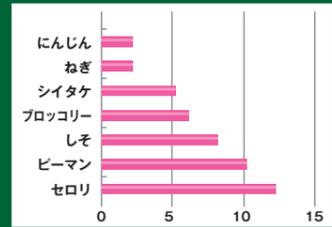
題材例：すてきな言葉

- とても気持ちのよい言葉が増えていますね。
- 嫌な言葉を言われたことがありますか。
- どんな言葉が気持ちがよいのか考えてみましょう。
- それぞれができることを決めて目標を立てて頑張りましょう。

板書例

1/23 バランスのよい食じ

キラいな食べものアンケートのけっか



野菜が好きな人が多い

どうしてバランスよく食べる



といいの？

- 頭のはたらきをよくする
- 力のもとになる
- つかれにくくなる
- かぜをひかない
- おなかをそうじする
- 目がつかれにくい
- ぎん肉をつくる
- ほねを強くする

にがてなもの食べるくふうを話し合おう

- すきなものはあとから食べる
- 少しでもかならず食べる
- あじつけをくふうしてもらう
- すきなものといっしょに食べる

自分ががんばること

- がんばりカードに書こう

がんばりカード 名前

児童の問題意識を高めるために、アンケート結果、実物や写真などを活用します。

絵や図を効果的に配置するなど、学習の流れが分かるように板書計画を構造化します。

課題別グループで話し合うなどして、個々の考えを深めたり、広めたりします。

具体的な実践方法を自己決定できるようにします。

児童会活動をどのように児童の活動にするの？

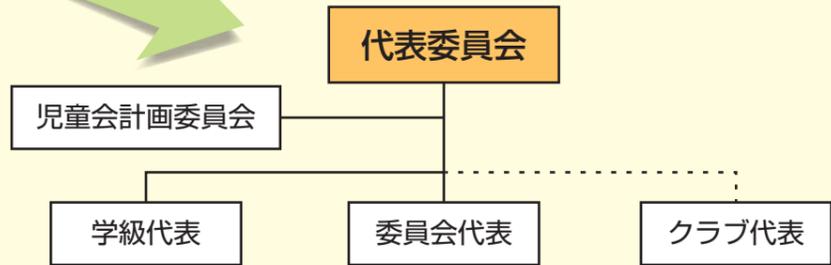
児童会は、全児童によって組織しますが、運営は主として高学年が行います。代表委員会、委員会活動、児童会集会活動の三つの形態がありますが、ここでは、代表委員会について説明します。

(1) 児童会の計画や運営

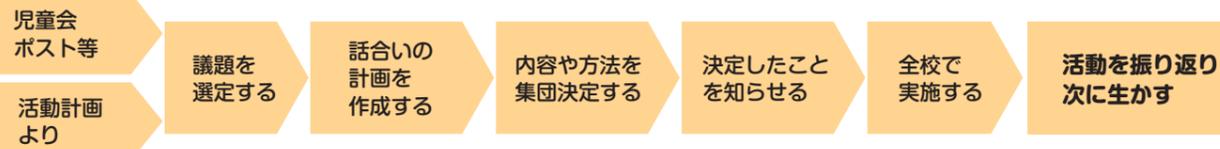
(2) 異年齢集団による交流

(3) 学校行事への協力

代表委員会と各種委員会を並行して実施することは避け、それぞれの役割が果たせるようにします。



代表委員会の計画や準備等を行い円滑に運営する組織として、児童会計画委員会を設置し、その代表委員は適宜交代して経験できるようにします。なお、委員会の所属は、通年制で行います。



六月二十七日 第三回 代表委員会

議題 気持ちのよいあいさつができる学校にしよう

議題理由 あいさつは、人と人をつなぐ大切なものです。しかし、今、学校ではあいさつが進んでできていません。全校で取り組んでいけば、あいさつがふえ、今よりもっといい学校になると思っています。

話し合うこと①
学校全体で取り組むことを考えよう

5-1 知らせる
ポスターで
よびかけるポ
スターをつく
る

6-1 全校集会以
よびかけるポ
スターをつく
る

話し合うこと②
委員会を取り組むことを考えよう

5-2 朝の時間などを利用して、クラスで話し合ったことを持ち寄り、整理しながら、よりよいものを決めていきます。

6-2 クラスから
も順番に、あ
いさつ当番を
だす

新聞委員会
新聞であいさつ運動について知らせる

放送委員会
毎日の風の放送で、あいさつ運動についてよびかける

- 学級活動の経験は、児童会活動の充実につながります。
- 児童の思いやアイデアを生かします。
- 低学年・中学年の意見も反映できるように工夫します。

代表委員会	活動計画
4	役割分担とめあての決定 年間計画の作成
5	運動会に向けて
6	運動会の反省 学校生活の諸問題について
7	各委員会からの活動報告
1	クラブ発表会の計画
2	6年生を送る会の計画、準備
3	1年間のまとめ 次年度に向けて 1年生を迎える会について

先生の指導を受けながら、自分たちで年間の活動計画を立てました。よりよい学校をつくるために、先頭立って頑張りたいです。



年間指導計画に基づいて、児童の活動計画の作成を支援します。
「この学校をよくするためには君たちの頑張りが必要だ」と期待感を伝えるようにします。



クラブ活動をどのように児童の活動にするの？

クラブ活動では、主として第4学年以上の共通の興味関心をもつ児童によって組織されます。年間、学期ごと、月ごとなどに適切な授業時数を確保するようにします。どの学年のメンバーも楽しめるように工夫することを通して、豊かな人間性、社会性を育てます。

クラブ活動は、楽しみにしている大好きな時間なんだ。



(1) 計画と運営

クラブに所属する児童全員の話合いによって、活動の内容や役割分担などの計画を決めます。

教師が作成した指導計画に基づき、児童が協力して活動計画を立てます。

外部講師を活用するときは、事前に十分な打合せを行い、クラブ活動のねらいをしっかりと理解してもらいます。

設置と所属

「自分のよさを生かせるものや興味のあるものは何だろう？」
「どんな活動をしてみたいかな？」
という児童の思いを大切に、決定します。



(2) クラブを楽しむ活動

活動計画に基づいて、同学年や異学年の友達と仲よく協力して創意工夫をしながら、活動を楽しみます。

(3) 成果の発表

クラブ発表会で、全校の児童や地域の人々に成果を発表します。そのほか学校行事や全校集会での発表や一定の期間、校内放送、展示、実演などの方法で発表することも考えられます。

クラブ活動における適切な授業時数は、クラブ活動の目標が十分に達成され、三つの内容が行える時数です。時間割に明確に位置付け、継続的に活動できるようにします。

児童会活動と同様に、年間指導計画に基づいて、児童の活動計画の作成を支援します。
「クラブ活動は、児童の創意工夫で楽しむ活動」であることを伝えます。



<年間指導計画>

	予想される主な活動	指導上の留意点
一学期	○クラブの計画や運営 ・はじめの会 ・年間活動計画、組織づくり ・異年齢を基にしたグループ編成	○楽しい雰囲気の中で、同好の集団としての仲間意識を高め、実験科学クラブへの意欲を高めるようにする。 ○リーダーシップやメンバーシップを意識させ、役割分担の必要性に気付かせ、異年齢集団による自発的、自主的な活動が効果的に展開できるようにする。
二学期	○クラブを楽しむ活動 ・実験や制作の計画を立てる。 ・実験や制作をする。 ・実験や制作を振り返る。 ・学期ごとの振り返り	○一人一人の思いや願いを大切に、全員が意欲的に取り組める実験や制作を考えられるようにする。 ○みんなが楽しめる実験や制作を話し合い、実践できるようにする。
三学期	○クラブの成果の発表 ・クラブ発表会	○クラブ発表会に向けて、発表内容や、方針などの計画を考え、協力して準備できるようにする。

みんなが楽しめるような計画をつくり、発表会を目指して頑張ります。



学校行事で学校生活をどのように豊かに

するの？

～地域や自然との関わり，文化や人との触れ合い，
その中で生まれる強いつながりや深い感動は，一生の宝物～

どの学年においても5種類
全ての学校行事を行えるよ
うに計画します。



五年生の年間行事	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	入学式	健康診断	遠足	自然教室	地域清掃活動	地震避難訓練	運動会	収穫祭	芸術鑑賞会	学芸会	なわとび大会	福祉施設訪問	卒業式

これは，ある学校の例で
す。学校行事においては，
各教科等で身に付けた力が
役立っていることを，児童
に実感できるようにするこ
とが大切です。



⇒「小学校学習指導要領」
P114～115参照

清新な気分を味わう
儀式的行事

文化や芸術に親しむ
文化的行事

健康な心と体，安全な生活をつくる
健康安全・体育的行事

友情を深め，助け合うことの大切さを知る
遠足・集団宿泊的行事

人の役に立つことの喜びを知る
勤労生産・奉仕的行事

特色ある学校づくり

- 学校行事は，各学校の創意工夫を生かしやすく，**特色ある学校づくりを進める上で有効な教育活動**です。何を学ばせたいかを明確に示し，教師全員がそれを理解して指導に当たることが大切です。
- 地域や保護者のニーズ，児童の実態，教師の教育観などから，**毎年新鮮な目で学校行事を見直し，改善を図る**ようにする必要があります。

言語活動の充実

- 体験活動を通して気付いたことを振り返り，**まとめたり発表したりする活動を充実させる**ことが言語力の育成につながります。
- その場限りの体験活動で終わらせることなく，活動の節目にも，**話す，聞く，読む，書く，などの活動を意図的に取り入れていく**ことが大切です。

体験活動の充実

- 体験活動を通して，公共の精神が養われ，集団活動を行うのに必要な**生きて働く知識や技能が身に付いて**いきます。
- 集団宿泊活動**では，学校の実態や児童の発達の段階を考慮しつつ，自然体験や社会体験などについて，**一定期間（例えば1週間（5日間）程度）にわたって行うと効果的**です。

自主性・協調性の育成

- 学校行事は教師が意図的，計画的に実施しますが，**必要に応じて児童の発意・発想を効果的に取り入れる**ことにより，児童の自主性を育むことができます。
- 様々な学校行事を通して，児童の所属感や連帯感が高まり，愛校心が育まれていきます。こうした集団意識が，協調性の育成につながり，**学級経営の充実にも直結**します。

異年齢集団による交流

- 学校行事は，学年や学校を単位として活動を行いますが，**できるだけ複数の学年の児童が参加できるように工夫**することにより，異年齢の他者ともよりよい人間関係を築くことができるようになります。
- 高学年ではリーダーシップや思いやりの心が育ち，低学年では上級生に対するあこがれの気持ち**が育ちます。

家庭や地域との連携

- 学校行事は，多くの地域の方々や保護者の参加を得られるように工夫することで，**学校で生き生きと学んだり生活したりする児童の様子を見てもらうよい機会**となります。
- 積極的に家庭や地域の諸団体と連携を図ったり，地域の施設を活用したりすることにより，効果的な体験ができるようにします。その際，**「綿密な打合せ」や「ねらいや成果などの情報発信」**を心掛けるようにします。

学校行事の充実は，学校生活に彩りを与えて豊かな

ものにし，家庭や地域の信頼を得ることにつながります。

